

令和元年度 事業報告及び決算

《令和元年度事業報告》

1. 環境保全整備事業

(1) 植樹活動支援事業

- ・全国37ヶ所で約17千本植樹（累計で118万本）。
- ・地方自治体、市民団体、NPO等と連携し、また三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の拠点の紹介を通じて、地域社会貢献として相応しい樹木寄贈案件を推進。
- ・寄贈対象分野は、水源・河川流域、及び学校、公園等公共施設を重視。

寄贈対象	件数	本数
福祉施設	2ヶ所	130本
公園・広場	6ヶ所	2,593本
学校・幼稚園	6ヶ所	506本
水源・河川流域	6ヶ所	5,894本
里山保全	8ヶ所	2,551本
病院・その他公共	9ヶ所	5,252本
合計	37ヶ所	16,926本

○主要案件：

北海道「虹別コロカムイの会」、宮城県「牡蠣の森を慕う会」、栃木県「足尾に緑を育てる会」、千葉県浦安市「うらやす絆の杜植樹祭」、神奈川県「丹沢の緑を育む集い実行委員会」、川崎市「市民100万本植樹運動」、愛知県「どんぐり交流会植樹祭」、京都市「小倉山森林再生事業」、大阪府「共生の森づくり」「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」、福井県鯖江市「NPO法人エコプラザさばえ」等

○東日本大震災復興支援案件：

仙台市「ふるさとの杜再生プロジェクト」、岩手県「のだ千年の松植樹祭」「桜ライン311」、宮城県「NPO法人わたりグリーンベルトプロジェクト」
千葉県「山武市青少年育成市民会議」「白子町みどりの少年団育成協議会」

(2) 学校ビオトープづくり支援事業

- ・専門指導員を擁する(公財)日本生態系協会(対象地域:全国)、(公社)大阪自然環境保全協会(関西)、ビオトープ・ネットワーク中部(東海)、(公財)埼玉県生態系保護協会(関東)と提携し、以下の学校で実施。
- ・埼玉県／所沢市立伸栄小学校、さいたま市立土合小学校、神奈川県／(社福)久良岐母子福祉会くらき永田保育園、愛知県／名古屋市立二条幼稚園、名古屋市立神の倉幼稚園、石川県／(学法)鶴来学園鶴来第一幼稚園、佐賀県／(社福)みらいのそら そらいろこども園 の7校。
累計で144校。

(3) 里山保全支援事業

- 新規支援先：神奈川県川崎市「水沢森人（もりんど）の会」（令和元年度～3年度）
：大阪府東大阪市「東大阪フォレストクラブ」（同上）

○現在の支援先7ヶ所：

- ・埼玉県小川町「小川町里山クラブ you-you」（最終年度 年度活動回数 15回／1回当たり参加人数 22名）、千葉県市原市「地域応援団 川島会」（最終年度 15回／12名）、愛知県豊田市「とよた自然わくわくクラブ」（23回／8名）、大阪府茨木市「鉢伏山森づくりの会」（24回／11名）、静岡県掛川市「子供の森支援の会」（33回／8名）、神奈川県川崎市「水沢森人（もりんど）の会」（36回／33名）、大阪府東大阪市「東大阪フォレストクラブ」（11回／12名）

2. 環境教育事業

(1) 「みどりの絵コンクール」の開催

- ・第44回「みどりの絵コンクール」は、「みどりの絵」「わたしが守りたい身近な自然」の両部門に全国から2万5,342点の応募あり（累計約141万点）。
- ・一次審査（10/11）、本審査（10/25）を経て、環境大臣賞を含む最優秀賞9点、優秀賞32点、入選349点を選定。最優秀賞受賞者9名と家族が出席して表彰式を東京都内で開催（12/7）。

○入賞作品の展示状況

- ・12月の表彰式に合わせて、毎日新聞全国紙や毎日小学生新聞に最優秀賞9点を掲載。また、ホームページ上に入賞者の全氏名と最優秀賞9点及び優秀賞32点を掲載。
- ・新宿御苑インフォメーションセンター内アートギャラリーで5日間（5/1～5/5）、第43回の最優秀賞、関東地区（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）の優秀賞及び入選を展示。
- ・三菱UFJ銀行の営業拠点を活用して第43回入賞作品を展示～大阪営業部（8/5～8/16）

(2) 大学向け寄附講座の開講

- ・筑波大学の2年目講座開講(全学3・4年生対象)

【前期・春学期】

- ・講義科目：「地球環境変動と地球規模課題の科学論」
～受講登録者数約60名、10講義(4月～6月)
- ・実習科目：生命環境科学実習 A（実験・フィールドワーク、9/8～9/14）
～「海と山の生物の生態と多様性」の調査・分析、受講生2名
～実習場所：筑波大学山岳科学センター菅平高原実習所及び下田臨海実験センター

【後期・秋学期】

- ・講義科目：「環境変動影響と持続可能社会構築の科学技術論」
～受講登録者数約60名、10講義(10月～12月)
- ・実習科目：生命環境科学実習 B①(国内研修、7/11～7/12)
～「環境バイオマスエネルギー科学技術の現地研修」、受講生11名
～実習場所：佐賀/佐賀清掃工場・有明水産振興センター・東与賀干潟 等
- ・実習科目：生命環境科学実習 B②(海外研修、7/18～7/26)
～「地球環境変遷の現場研修」と「最先端海洋科学研究の研修」、受講生6名
～実習場所：イギリス/ノーリッチ・カンタベリー・ドーバー・ロンドン 等

【公開シンポジウム】

- ・国内シンポジウム(5/18) 出席者約20名 ～筑波大学情報メディアユニオン2F
- ・国際シンポジウム(9/11) 出席者約50名 ～静岡市東部勤労者福祉センター

(3) 地球環境問題映画会の開催

- ・名古屋市科学館で「第26回生きている地球の記録」映画会開催（7/21）。「グリーンイメージ国際環境映像祭2019」の入賞作品7本を無料上映し、204名来場。
- ・大阪歴史博物館でも、第7回大阪映画会開催（8/18）。同映像祭の入賞作品7本を無料上映し、175名来場。

(4) 啓発図書の発行

○既存図書提供

- ・「樹の本」等の図鑑シリーズ 2,270冊、中部関連ガイドブック 716冊、「大阪の里山 四季の生きものたち100」100冊 等

3. 体験活動事業

(1) 水源の森事業～ 公益的機能を重視した市民参画型の森づくり

- ・今年度は公募の「自然ふれあい楽習」3回を含む5回開催。延べ参加者216名。～参加者層に合った各種プログラム内容（林業体験、自然観察会等）を提供。うち1回が子供向けの体験学習イベント。
- ・肥料木植栽地(ならまた体験活動の森)では、例年通り間伐・下刈作業等の林業体験実施。
- ・オープン以来23年経過。開催イベント数累計175回、延べ参加者累計9,554名

(2) 東海地区3県みどりの少年団「サマージャンボリー」の開催

- ・第44回サマージャンボリーを、国土緑化推進機構、愛知・三重・岐阜3県の緑化推進委員会及び協会との共催で、三重県「熊野少年自然の家」で開催、参加者135名。
- ・2泊3日(8/7～8/9)で、飯ごう炊飯、星空観察会、関所ハイク、野外フック体験、キャンプファイヤー 等

4. その他

(1) 公益認定等委員会（内閣府）による立入検査

- ・昨年9月5日に公益認定等委員会による立入検査が実施されたが、特に問題なく指摘事項はなし。

なお、令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しないものとします。

以上

令和元年度正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	14,046,816	14,441,880	▲ 395,064	償却原価額+35,360円
受取寄付金	55,000,000	55,000,000	0	
雑収益	2,700	2,781	▲ 81	
経常収益計	69,049,516	69,444,661	▲ 395,145	
(2) 経常費用				
① 事業費				
環境保全整備事業	23,483,632	24,556,625	▲ 1,072,993	
樹木寄贈費	10,663,118	11,596,015	▲ 932,897	
里山保全助成金	2,100,000	2,100,000	0	
学校ビオトープ助成金	1,604,609	1,754,938	▲ 150,329	
学校ビオトープ指導料	175,000	200,000	▲ 25,000	
給与手当	6,788,783	6,724,315	64,468	
法定福利費	1,046,654	1,076,079	▲ 29,425	
旅費交通費	741,159	765,377	▲ 24,218	
諸謝金	180,000	180,000	0	
雑費	184,309	159,901	24,408	
環境教育事業	24,927,258	27,014,208	▲ 2,086,950	
大学向寄附講座助成金	4,000,000	3,000,000	1,000,000	
給与手当	3,982,302	4,681,768	▲ 699,466	
法定福利費	610,101	639,836	▲ 29,735	
旅費交通費	250,290	344,976	▲ 94,686	
通信運搬費	2,079,867	2,050,407	29,460	
臨時雇賃金	737,000	714,000	23,000	
印刷製本費	1,004,137	4,610,296	▲ 3,606,159	
委託費	1,987,390	1,997,204	▲ 9,814	
後援負担金	540,000	540,000	0	
賞品費	4,620,267	4,354,359	265,908	
会場費	1,419,652	1,466,413	▲ 46,761	
表彰者旅費交通費	711,480	182,160	529,320	
備品・消耗品費	432,851	6,642	426,209	
賃借料	775,104	688,704	86,400	
広告宣伝費	320,328	321,948	▲ 1,620	
上映会場使用費	119,020	114,860	4,160	
諸謝金	970,000	960,000	10,000	
雑費	367,469	340,635	26,834	
体験活動事業	8,097,172	8,040,074	57,098	
サマージャンボリー負担金	750,000	750,000	0	
給与手当	3,729,810	3,915,651	▲ 185,841	
法定福利費	583,188	626,524	▲ 43,336	
旅費交通費	1,045,208	1,134,384	▲ 89,176	
臨時雇賃金	314,000	276,000	38,000	
委託費	573,200	530,000	43,200	
備品・消耗品費	235,522	12,026	223,496	
貸切バス費	460,360	448,350	12,010	
支払保険料	62,274	60,059	2,215	
雑費	343,610	287,080	56,530	
事業費計	56,508,062	59,610,907	▲ 3,102,845	
② 管理費				
役員報酬	1,612,908	1,368,528	244,380	
給与手当	6,153,798	6,039,137	114,661	
法定福利費	1,100,549	983,511	117,038	
旅費交通費	243,058	309,540	▲ 66,482	
通信運搬費	433,611	392,504	41,107	
備品・消耗品費	1,150,264	701,324	448,940	
賃借料	1,475,982	1,462,274	13,708	
会議費	337,536	366,480	▲ 28,944	
監査報酬	648,000	648,000	0	
諸会費	183,400	185,200	▲ 1,800	
雑費	372,652	495,516	▲ 122,864	
管理費計	13,711,758	12,952,014	759,744	
経常費用計	70,219,820	72,562,921	▲ 2,343,101	
当期経常増減額	▲ 1,170,304	▲ 3,118,260	1,947,956	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 1,170,304	▲ 3,118,260	1,947,956	
一般正味財産期首残高	295,717,755	298,836,015	▲ 3,118,260	
一般正味財産期末残高	294,547,451	295,717,755	▲ 1,170,304	
II. 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	19,479,915	19,926,142	▲ 446,227	償却原価額+51,234円
受取寄付金	55,000,000	55,000,000	0	
一般正味財産への振替額	▲ 67,907,393	▲ 68,304,638	397,245	
当期指定正味財産増減額	6,572,522	6,621,504	▲ 48,982	
指定正味財産期首残高	1,830,073,812	1,823,452,308	6,621,504	
指定正味財産期末残高	1,836,646,334	1,830,073,812	6,572,522	
III. 正味財産期末残高	2,131,193,785	2,125,791,567	5,402,218	

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I.資産の部			
1.流動資産			
現金預金	32,979,538	34,190,182	▲ 1,210,644
前払金	0	0	0
未収金	6,012,857	6,007,877	4,980
流動資産合計	38,992,395	40,198,059	▲ 1,205,664
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(指定正味財産)	119,732,145	38,210,857	81,521,288
定期預金(一般正味財産)	829,400	829,400	0
有価証券(指定正味財産)	1,716,914,189	1,791,862,955	▲ 74,948,766
有価証券(一般正味財産)	241,902,767	241,867,407	35,360
基本財産合計	2,079,378,501	2,072,770,619	6,607,882
(2)特定資産			
分収育林「水源の森」	12,822,889	12,822,889	0
特定資産合計	12,822,889	12,822,889	0
固定資産合計	2,092,201,390	2,085,593,508	6,607,882
資産合計	2,131,193,785	2,125,791,567	5,402,218
II.負債の部			
1.流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2.固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III.正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	1,836,646,334	1,830,073,812	6,572,522
指定正味財産合計	1,836,646,334	1,830,073,812	6,572,522
(うち基本財産への充当額)	(1,836,646,334)	(1,830,073,812)	(6,572,522)
2.一般正味財産	294,547,451	295,717,755	▲ 1,170,304
(うち基本財産への充当額)	(242,732,167)	(242,696,807)	(35,360)
(うち特定資産への充当額)	(12,822,889)	(12,822,889)	0
正味財産合計	2,131,193,785	2,125,791,567	5,402,218
負債及び正味財産合計	2,131,193,785	2,125,791,567	5,402,218

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
保有している有価証券は全て満期保有であり、その評価基準は償却原価法(定額法)を採用している。
- ② 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産……定率法を採用している。
- ③ 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(指定正味財産)	38,210,857	119,732,145	38,210,857	119,732,145
定期預金(一般正味財産)	829,400	829,400	829,400	829,400
有価証券(指定正味財産)	1,791,862,955	51,234	75,000,000	1,716,914,189
有価証券(一般正味財産)	241,867,407	35,360	0	241,902,767
小計	2,072,770,619	120,648,139	114,040,257	2,079,378,501
特定資産				
分収育林「水源の森」	12,822,889	0	0	12,822,889
小計	12,822,889	0	0	12,822,889
合計	2,085,593,508	120,648,139	114,040,257	2,092,201,390

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金(指定正味財産)	119,732,145	119,732,145	0	0
定期預金(一般正味財産)	829,400	0	829,400	0
有価証券(指定正味財産)	1,716,914,189	1,716,914,189	0	0
有価証券(一般正味財産)	241,902,767	0	241,902,767	0
小計	2,079,378,501	1,836,646,334	242,732,167	0
特定資産				
分収育林「水源の森」	12,822,889	0	12,822,889	0
小計	12,822,889	0	12,822,889	0
合計	2,092,201,390	1,836,646,334	255,555,056	0

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 (単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
国債	271,849,261	276,979,840	5,130,579
地方債	64,967,695	65,532,150	564,455
社債	1,622,000,000	1,646,654,300	24,654,300
合計	1,958,816,956	1,989,166,290	30,349,334

※銘柄別の内訳は、財産目録の欄外脚注をご参照下さい。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替額	12,907,393
受取寄付金の振替額	55,000,000
合計	67,907,393

11. 金融商品の状況に関する注記

- ① 金融商品に対する取組方針
当財団は、公益目的事業及び管理業務の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用を行っている。
なお、仕組債等の投機的取引は行わない方針である。
- ② 金融商品の内容及びそのリスク
投資有価証券は、円建て債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスク等にさらされている。
- ③ 金融商品に係わるリスク管理体制
 - 資金運用規定に基づく取引
金融商品の取引は、当財団の資金運用規定に基づき行っている。
 - 信用リスク及び市場価格変動リスクの管理
円建て債券については、発行体の信用状況及び時価を定期的に把握し、理事長に報告している。
金融商品の明細や運用状況については、理事会に報告している。

以上

附属明細書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している

2. 引当金の明細

該当なし

以上

財産目録
令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	普通預金	運転資金	12,979,538	
		三菱UFJ銀行東京営業部			
	定期預金	三菱UFJ銀行東京営業部	運転資金	20,000,000	
	未収金		利付国債等の未収利息	6,012,857	
流動資産合計				38,992,395	
(固定資産)	基本財産	定期預金(指定正味財産)	三菱UFJ銀行東京営業部	公益目的保有財産、及び公益目的事業に必要な管理業務の用に供する財産であり、運用益の60%を公益目的事業、40%を管理業務の財源としている	119,732,145
		定期預金(一般正味財産)	三菱UFJ銀行東京営業部		829,400
		有価証券(指定正味財産)	利付国債他(注1)		1,716,914,189
		有価証券(一般正味財産)	利付国債他(注2)		241,902,767
	特定資産	分収育林「水源の森」	群馬県利根郡みなかみ町藤原大利根 国有林64林班い、ろ、は小班	公益目的保有財産であり、体験活動事業である「水源の森」事業に使用されている	12,822,889
固定資産合計				2,092,201,390	
資産合計				2,131,193,785	
流動負債合計				0	
固定負債合計				0	
負債合計				0	
正味財産				2,131,193,785	